

事務事業名	観光施設修繕事業		所属部	産業観光部	所属課	産業施設課
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	産業施設グループ	課長名 吉野 聡
	施策名	〈36〉観光の振興		担当者名	錦織慎司	電話番号 0854-40-1093 (内線) 2422
	目的・対象	A)市外の人 B)市民	意図	A)市内で観光を楽しんでもらい、消費してもらう。B)観光情報を発信する。		
	基本事業	〈107〉受け入れ施設の充実		予算科目	0:1350:1 0:5205:1	大事業名 観光施設管理事業 中事業名 観光施設修繕事業
目的・対象	観光客		意図	観光施設を利用できる。		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①市外からの入込客 ②管理対象物件	①観光してもらう ②適正管理する
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	市内観光施策施設の修繕
④ 主な活動 R5年度実績(R5年度に行った主な活動) ・市内観光施設の修繕 ①修繕箇所把握 ②修繕費用積算 ③契約、執行 ④完了検査 ⑤支出事務	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) ・H27年度までは総合センター事業管理課で維持管理を行ってきたが、組織機構改革によって、H28年度は産業振興部産業施設課、H29年度から産業観光部産業施設課が所管となった。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 観光入込客数	万人	93	100	107	116
イ 観光消費額	百万円	1,982	2,043	2,255	2,858
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【修繕費】 大東:4件 811千円 木次:12件 4,288千円 三刀屋:6件 3,372千円 吉田:11件 2,114千円 掛合:20件 4,591千円 【合計】53件 15,176千円	財源内訳 国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円				
	事業費計	千円	12,618	10,866	15,176	2,373

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	市内観光施設について、緊急性(修繕しないとその施設が使用できなくなる)、安全性(修繕しないことで利用者・使用者に危険がある)、必要性(その他地元との協議等により実施の必要がある)の観点から優先度を決め修繕対応を行い、継続して使用できるようにした。
② 事業実施するうえでの課題	対応できる範囲での修繕を行った。 老朽化が進んでおり、後追いの修繕となっている。今後、修繕や更新の箇所は増大すると考えられるため、人件費も増となる見込みである。
③ 課題解決に向けた改革改善等	市内観光施設の修繕事業であり、観光振興計画との整合を図りながら計画的な修繕を行う。